

水俣病問題の早期解決を要望

県経済委員会

二十五日夜上京した県経済委員会
の岡本委員長、恒松副委員長ら七

氏は、二十六日午前に経済企画庁運輸省を訪れ、午後は新日窒本社で千原専務と会い、それぞれ水俣病問題の早期解決を要望した。

水俣病関係の諸問題について結論を早く出し解決を急いでほしいというもので、具体策をもつ陳情ではなかったが、運輸省では「水俣湾のドベをどう考えるか」と質問した。これにたいして運輸省側は「港湾計画で三十五年度の予算もついており、航路にあたるところは渡せつするが、それ以外の計画はもっていない」と答えた。

なお、岡本、恒松、小谷の三氏は二十六日午後七時東京駅発「はやぶさ」で帰熊した。（東京支社）